



K120.8

52

1

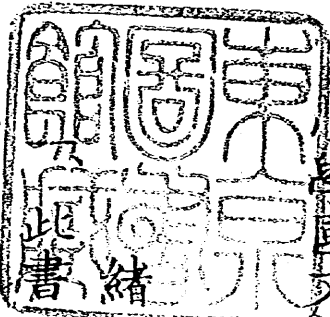
山縣悌三郎著

小學國文讀本

東京文學社



小學國文讀本



緒言

小學校讀書科の用書に供せんが爲めに著はしたるものなり。

一、第一卷ハ、發音及び言語の練習、假名の讀み方、書き方等を授くるの目的にて、即ち初めて小學校に入りてより半年

間の用書も充てんとするものなり。其文字の排置叙列の如きは、務めて簡より繁に入り、易より難に進むに注意せり。

一、第二卷、第三卷、第四卷より、卷中の處に假名文を挿めり、是れ漢字を用ひざるも、亦能く思想を表はすの能を養ひ、兼ねて假名遣ひも熟せしめんとするなり。
一、此書の文體は、最初に談話體を用ひ、漸次に進みて、普通の國文體に移れり。其文章成就ては、著者の殊に心を用ひたる

ものなり。

一、此書の材料は、修身、地理、史傳、農工商業及び國民の心得等、日常生活に必須なる事項を撰べり。即ち一はかゝる有用の事物を知り、一は普通國文に熟せしめんことを務めしむるなり。

一、此書の全部通して八卷とす。これ前六卷は三年期の尋常小學校に分用すべく、後二卷を連ぬれば、四年期に適用すべからしめたるなり。乃ち兩者何れに用ふ

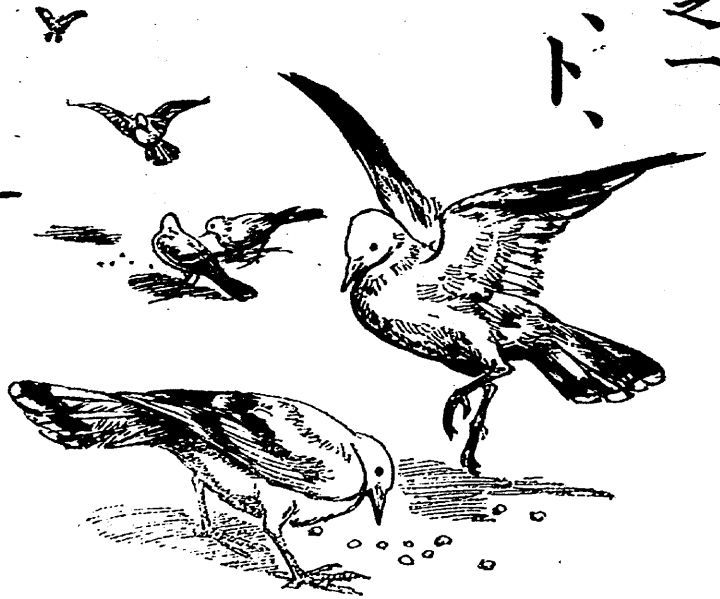
るも不可あることなり。

明治廿五年八月 著者識す

小學國文讀本卷之一

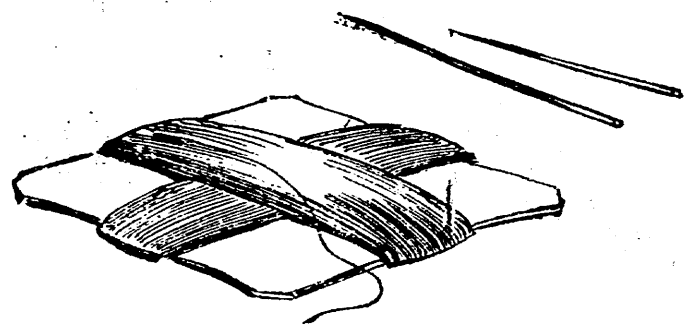
第一課 ハト

ハト



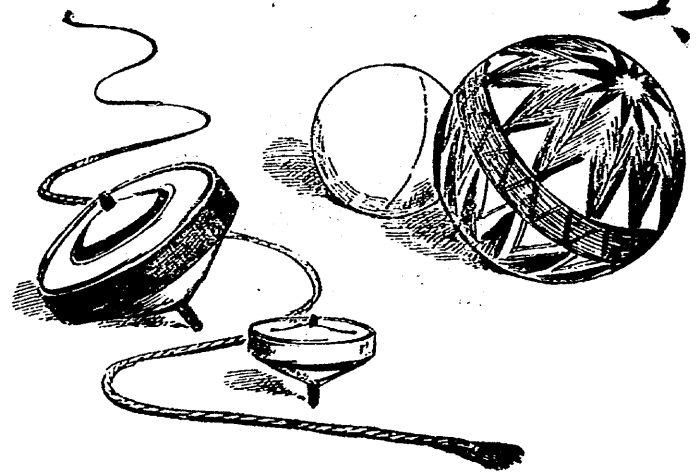
第二課 リイ

ハ
リ
イ
ト



第三課 マコ

マ
リ
コ
マ



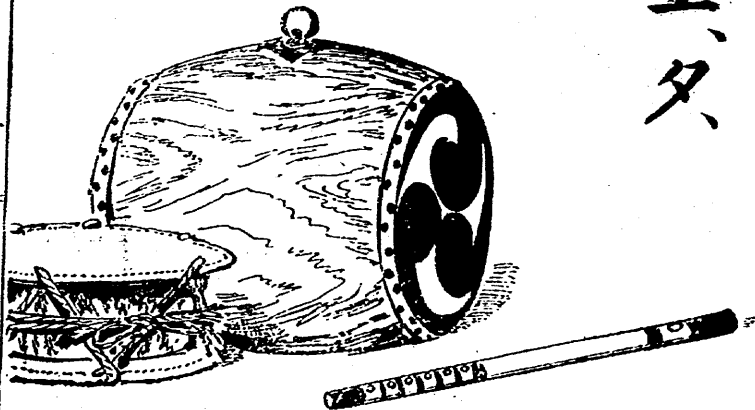
第四課 ク、カ、キ、

クリ
ト
カキ。



第五課 フ、エ、タ、

フエ
ト
タイコ。



第六課 シロ、又、ネ。

シロイヌ。

クロネコ。



第七課 ア、ナ、ヲ、サ。

アカキハナ。

アヲキクサ。



第八課 ツノハ、ウメ、

マツノキ。

ウメノハナ。



第九課 モ、ワ、井、ス、レ、ン、

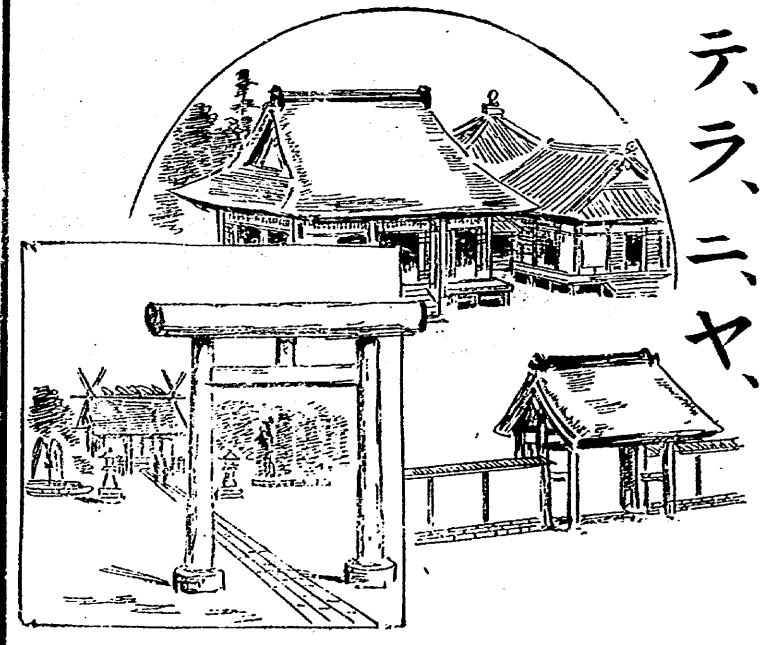
イモトクワ井。

ナストレンコン。



第十課 テ、ラ、ニ、ヤ、

テ、ラ、ニ
モ、ン。
ヤ、シ、ロ、ニ
ト、リ、井。



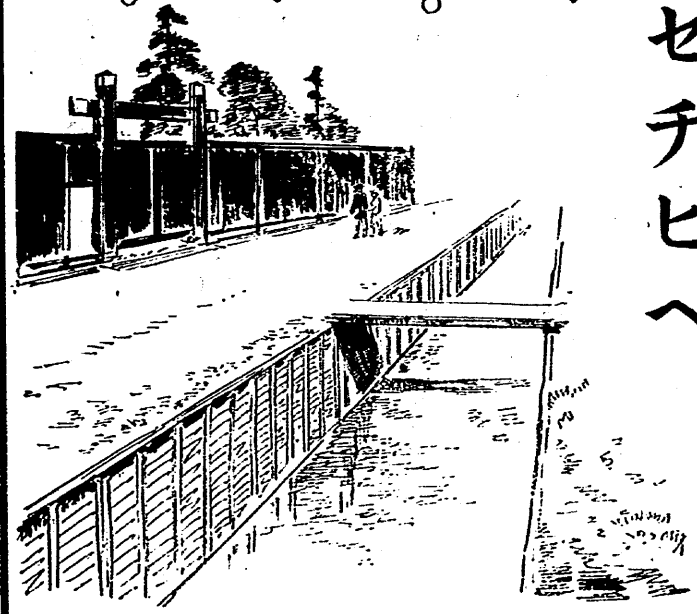
第十一課 エ、ホ、ヨ、ム、ミ、ル

エ、ヲ、カ、ク。
ホ、ン、ヲ、ヨ、ム。
ス、ミ、ヲ、ス、ル。



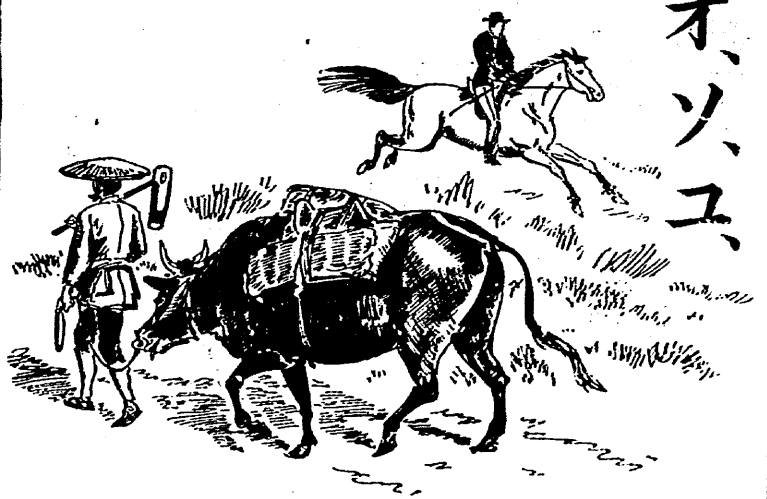
第十二課 セ、チ、ヒ、ヘ、

ハシセマク、
ミチヒロシ。
ヘイタカク、
ホリフカシ。



第十三課 ケ、オ、ソ、ユ、

ウマハヤク
カケ、
ウシオソク
アユム。



五十音

ナ	タ	サ	カ	ア
ニ	チ	シ	キ	イ
ヌ	ツ	ス	ク	ウ
ネ <small>子</small>	テ	セ	ケ	エ
ノ	ト	ソ	コ	オ

ン	ワ	ラ	ヤ	マ	ハ
	井 <small>井</small>	リ	イ	ミ	ヒ
	ウ	ル	エ	ム	フ
	エ	レ	エ	メ	ヘ
	ヲ	ロ	ヨ	モ	ホ

第十四課 ゼガ、

カゼヨフケフケ、
タコタコアガレ。



第十五課

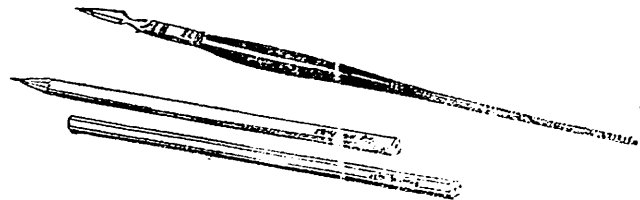
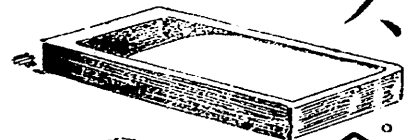
ズ、ヅ、
ヘ、ピ、

スズリト

ミヅイレ。

ペント

エシ。ピツ。



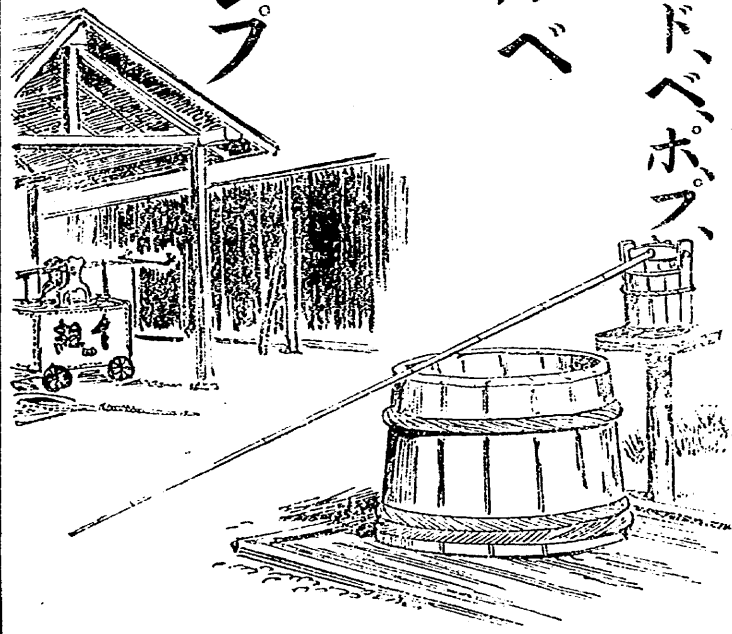
第十六課 ド、ベ、ホ、ブ、

井ドニツルベ

アリ。

コヤニポンプ

アリ。



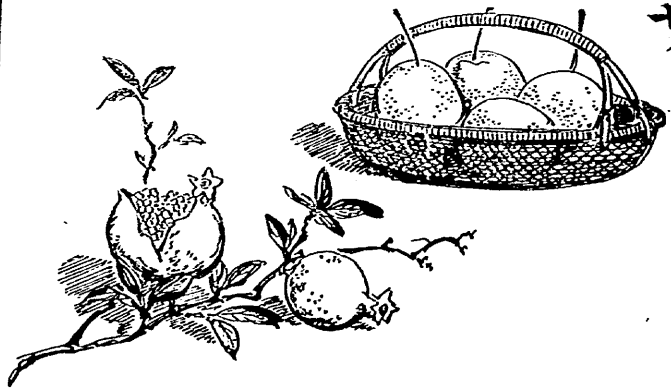
第十七課 ゴ、ダ、ザ、

カゴニアルハ、

ミカンニテ、

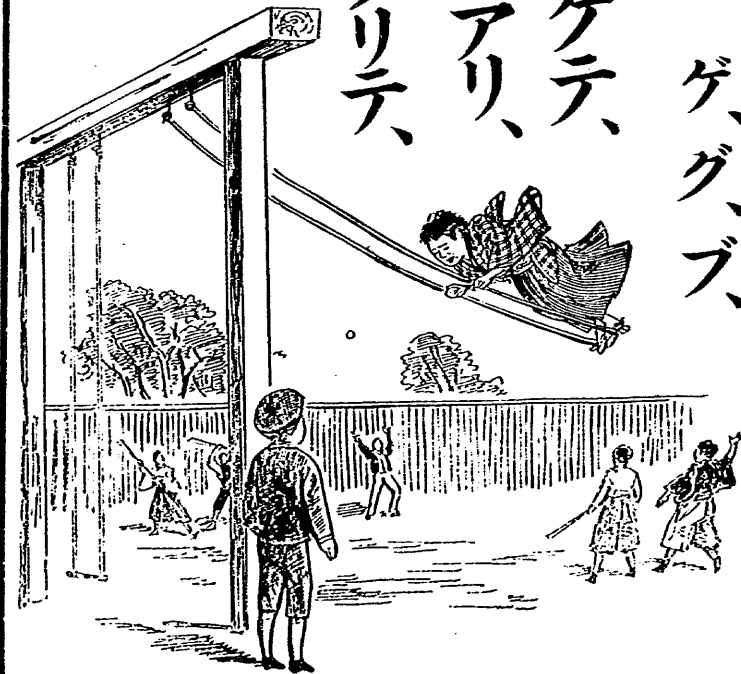
エダニツキタルハ、

ザクロナリ。



第十八課 ゲ、グ、ブ、

マリヲナゲテ、
サワグモヲアリ、
ブラシヨニノリテ、
アソグモヲ
アリ。



第十九課

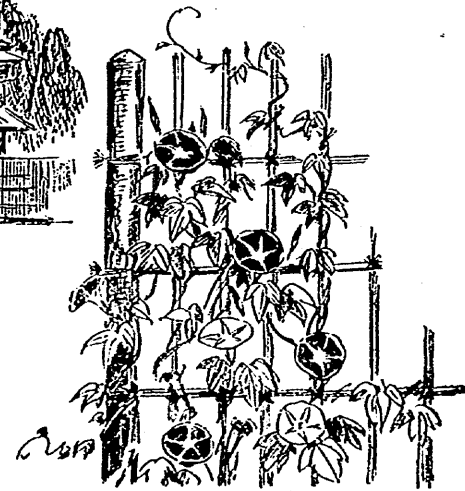
デ、ジ、バ、ズ、

フデニテモシヲ
カキ、
ソロバンニテカズヲ
カゾフ。



第二十課 ギ

カキニサクハ、
アサガホナリ。
イヘノウシロ
ニアルハ、
ヤナギナリ。



第二十一課 ギ、ビ、

フヂダナノ
シタニ
アソビ、
トモダチト
イヌヲ
オヒマハス。



第二十二課 ボ、ッ、ニ、ン、三、四、五、六、七、八、九、十、

ボ タシ ノ ハ ナ ガ、
サ キ マ シ タ、
マ ダ ヲ ッ ニ ッ ニ ッ ヲ
五 ッ 六 ッ セ ッ ハ ッ
九 ッ 十 ッ ボ コ ガ
ア リ マ ス。



第二十三課

一、二、三、四、五、六、
七、八、九、十、ハ、

ア レ ア ノ ヤ シ ロ ノ
ヤ ネ ニ、ハ ト ガ
ト マ リ マ シ タ、
一、二、三、四、五、六、七、八、
九、十、ハ、ヨ リ マ ス。



濁音

バ	ダ	ザ	ガ
ビ	チ	ジ	ギ
ブ	ツ	ズ	グ
ベ	テ	ゼ	ゲ
ボ	ド	ゾ	ゴ

次清音

パ
ピ
プ
ペ
ポ

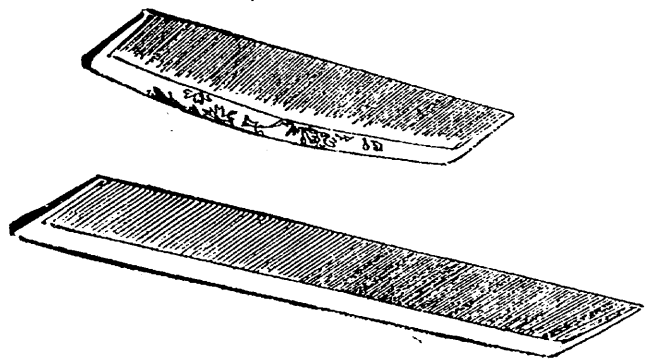
數字

一	六
二	七
三	八
四	九
五	十

第二十四課

クシ
くし

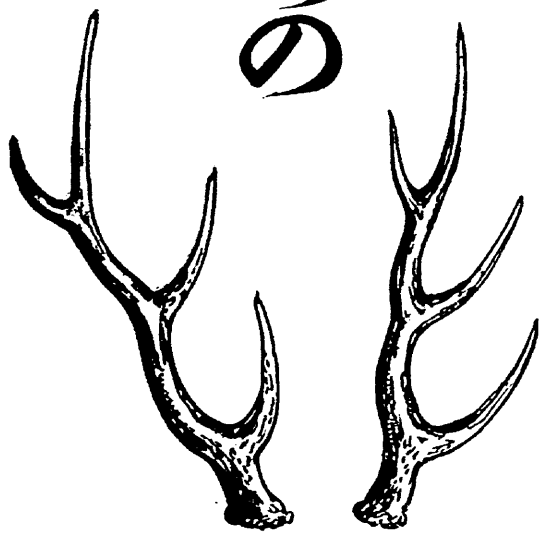
くし。



第二十五課

カノヅ
かのづ

かのづの



第二十六課

ウイ、トリ、
うい、どり、

うつくし

どり。



第二十七課

ゼフ、ア、メル、
ぜふあめる、

かせふく。

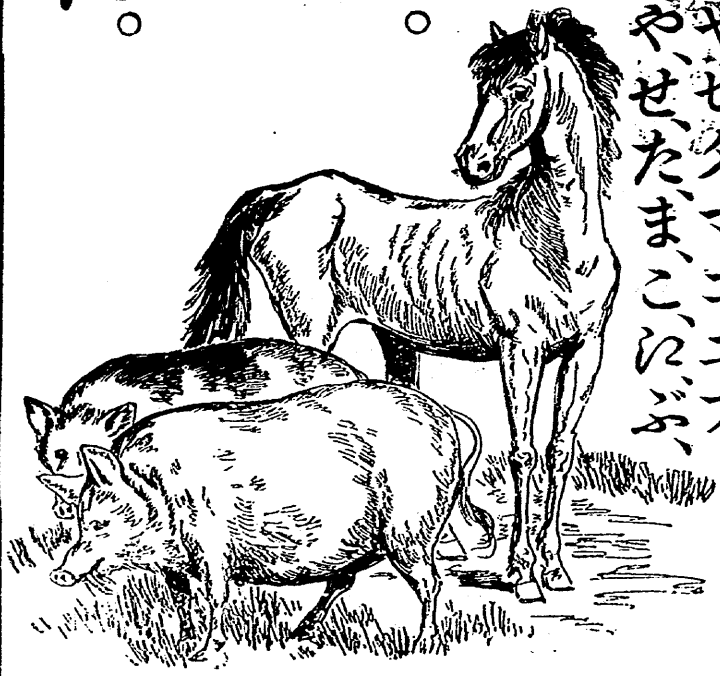
あめふる。



第二十八課

やせたる、まご、エブ、
やせたま、こいぶ、

やせたる
うま。
こいたる
ぶた。



第二十九課

ハ、ヲ、ゲ、ヒ、ネ、グ、
は、を、げ、ひ、ね、ぐ、

このこは、
たこをあげ、
あのひとは、
ふねをこぐ。



第三十課

又、ぬ

いぬは

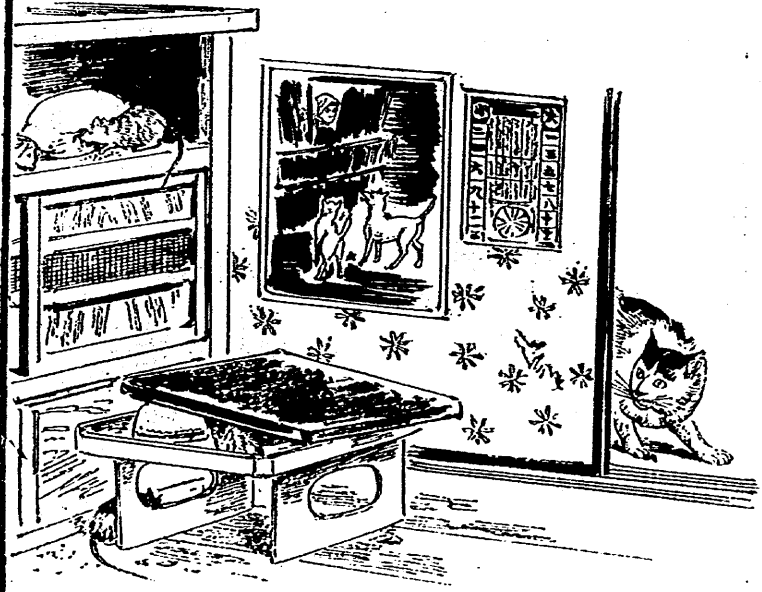
よるを

まもり、

ねこは

ねずみを

とる。



第三十一課

スナ、ベテ

すなべて

すすめすすめ

あーとく

すすめ。

まなべまなべ

つとめて

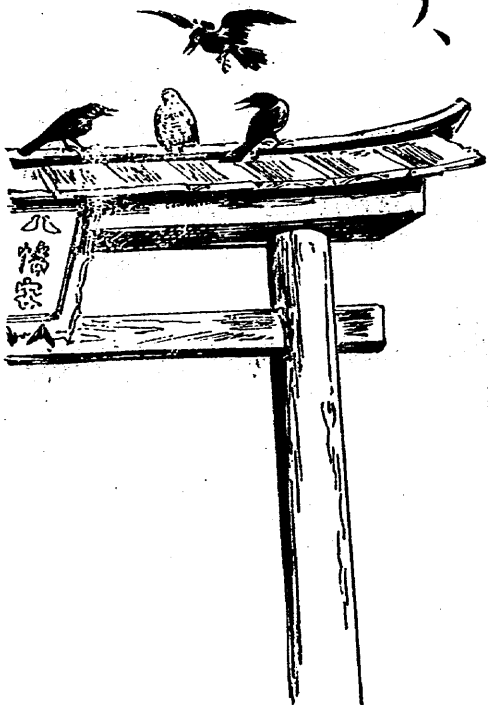
まなべ。



第三十二課

井、ニ、ラ、ビ、ガ、ド、チ、デ、
る、に、ら、び、が、ど、ち、で、

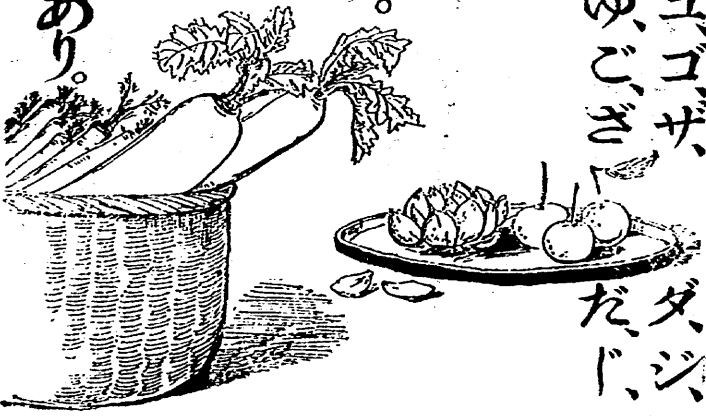
あのたがいとりゐるに、からすとどび
とがゐます、
どちらが
どびで
あります
か。



第三十三課

ボ、ン、へ、ユ、ゴ、ザ、
ぼ、ん、ゆ、ご、ざ、
だ、だ、
だ、

ぼんのうへに、
ゆりとりんごとあり。
ざるのなかに、
だいこんとにんげんとあり。



第三十四課

チムサキロツ、
ヂむさきろつ、
レ、
ゾ、

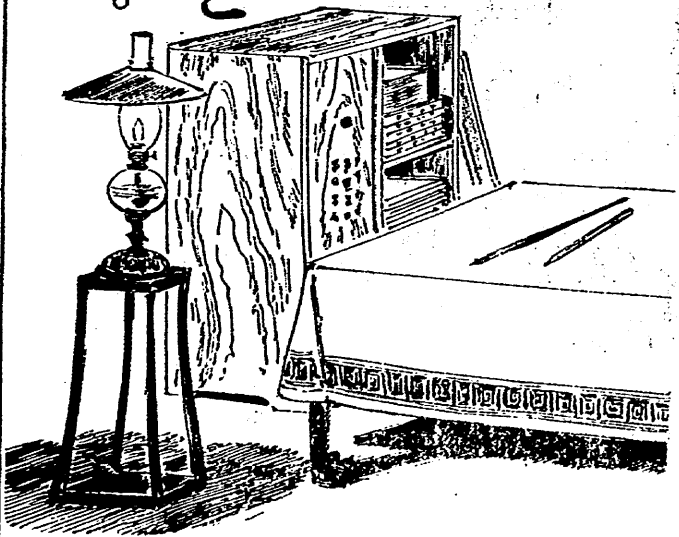
ふぢはむらさきに、ほたんは、
とあかとあり。なんぢはづれを
このむづ。



第三十五課

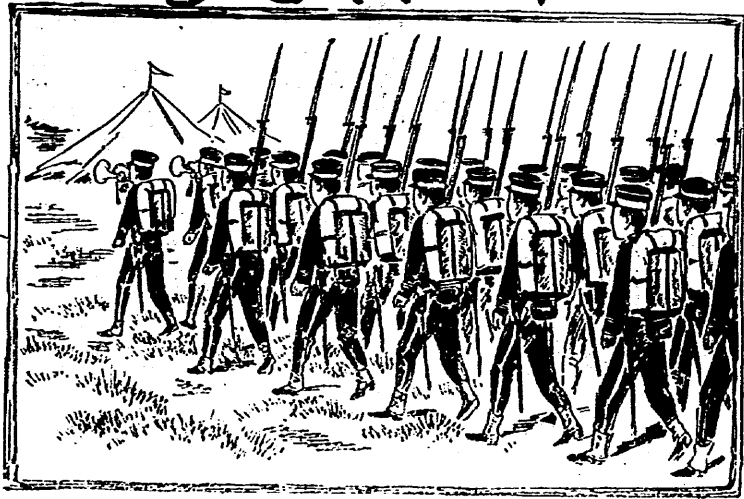
エペピソ、
ホ、
ワ、
ホ、
バ、
プ、
ホ、
ピ、
ソ、
ワ、
ホ、
バ、
プ、

つゝあのをへに、
ふんとふんひら
とあり。
るのあきにほへは
とらんぶとあり。



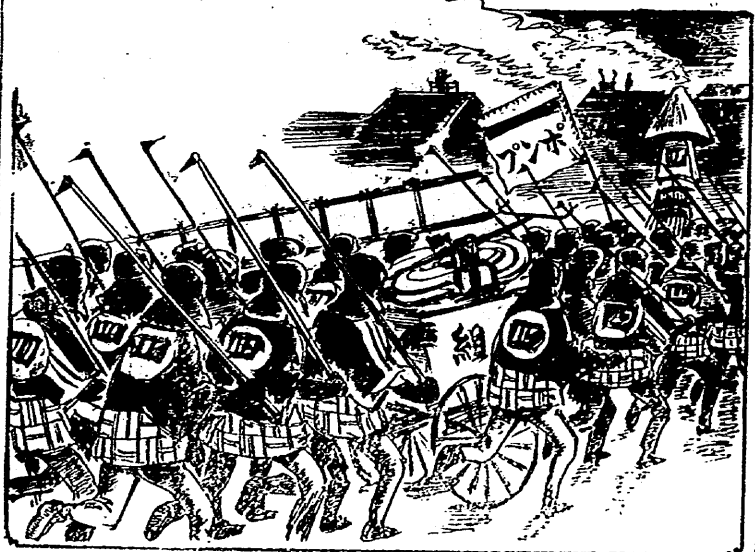
第三十六課 木 ね ば

この急をござらん
なされ、ねほせい
の いたいが、らつば
をふき、あーを
ろろつて、すすむ
ところ、あります。



第三十七課 ぐ ぽ ぎ
け ぼ ぎ

またこの急は、
ひけーが、ほんぶ
をひき、はーごを
かつぎて、かけて
ゆくところ、で
あります。



い
る
は

よ	あ <small>あ</small>	い
た <small>た</small>	り	る
れ	ぬ	は <small>は</small>
ろ <small>ろ</small>	る	に
つ <small>つ</small>	を	ほ <small>ほ</small>
ね	わ	へ <small>へ</small>
な	か <small>か</small>	と <small>と</small>

ゑ	あ	や	ら
ひ <small>ひ</small>	さ <small>さ</small>	ま	む
も	き <small>き</small>	け <small>け</small>	う
せ <small>せ</small>	ゆ	ふ <small>ふ</small>	ぬ
す <small>す</small>	め	こ <small>こ</small>	の
ん	み	に	お
	し <small>し</small>	て <small>て</small>	く <small>く</small>

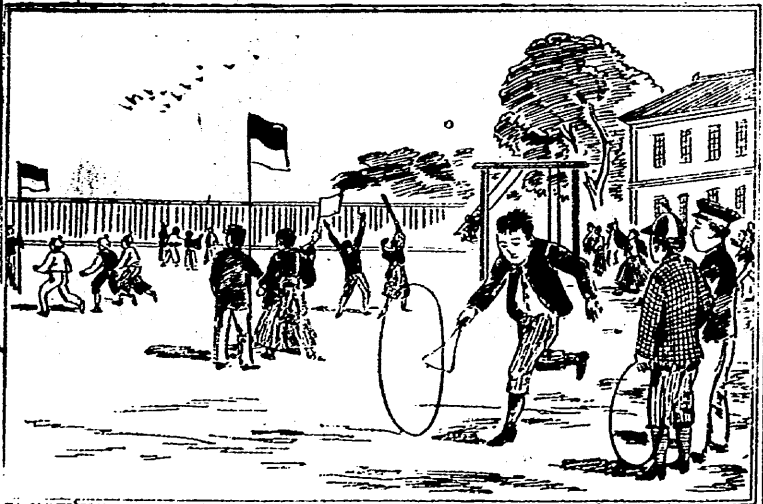
第三十八課

ねあよさん、まりを
 つきませう、
 ひいふうみいより
 いつむうななやあ
 ことを。



第三十九課

コハガクウノアソビ
 ナリ、冬ヲタルモ
 アリ、カケクラヲスル
 モノアリ、ワヲマス
 モノアリ、ミチオモシ
 アソビヲレリ。



第四十課

あうべよ ことも、みなうちよりえ、
 たまなげ かけくら、こころのままに、
 まなびの みらに、ひまあるときは、
 あうべよ ことも、なかよくあうべ。

第四十一課

コトタマハ、オヤノオホセニ
 シタガヒマス、トモチ
 トアズビテモ、イチ
 ノキキアトハシヤセン、
 マタ、ホシモヨヨクマス。



第四十二課

社のをしへを、よくまもり、
 ともとあうびて、むつまゝく、
 まなびのみちに、せいだすを、
 よきこどもとは、いふづか。

第四十三課

ココハ、ガクモンモヨダキ、タサモ、スキデ
 アリヌ、オホキク
 テリマシタラ、
 リツパナヒトニ
 ナリマセウ。



第四十四課

すめらみくにの、もののふは、
 いかなることをかつとむべし。
 ただみにもてる、まごころを、
 きみとたゆとにつぐすまで。

小學國文讀本卷之一終

小學國文讀本 尋常小學校用

全四冊五厘

版權所有

明治二十五年九月三日印刷
 同 二十五年九月五日出版

著作人

山縣悌三郎

東京府下北豊島郡上野込村十九番地

小林 義則

東京日本橋區本町四丁目十六番地



發行所

文學社

東京日本橋區本町四丁目十六番地

感年不重来一日難再晨
及時當勉勵歲月不待人
陶淵明

小學校

生徒

所有

明治 年 月 日 購 求

